



平成29年7月26日

各 位

会 社 名 太 洋 工 業 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 細 江 美 則
 (J A S D A Q ・ コ ー ド : 6 6 6 3)

問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 取 締 役 管 理 本 部 長 阪 口 豊 彦
 電 話 0 7 3 - 4 3 1 - 6 3 1 1

営業外収益（保険解約返戻金）の計上
 及び平成29年12月期 第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年12月期第2四半期累計期間（平成28年12月21日～平成29年6月20日）において、下記のとおり営業外収益を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

また、当社は、本日開催の取締役会において、平成29年1月30日付当社「平成28年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において開示した平成29年12月期第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上について

生命保険の解約により、平成29年12月期第2四半期の連結及び個別決算において保険解約返戻金23百万円を営業外収益に計上いたします。

2. 平成29年12月期 第2四半期累計期間連結業績予想の修正等

	売 上 高	営 業 損 益	経 常 損 益	親会社株主に 帰属する 四半期純損益	1株当たり 四半期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	2,381	△58	△62	△85	△14.66
今 回 修 正 予 想 (B)	1,899	△89	△64	△58	△9.98
増 減 額 (B - A)	△481	△30	△2	27	—
増 減 率 (%)	△20.2	—	—	—	—
(参考) 前期第2四半期実績 (平成28年12月期第2四半期)	2,407	△70	△39	△47	△8.17

3. 平成29年12月期 第2四半期累計期間個別業績予想の修正等

	売 上 高	営 業 損 益	経 常 損 益	四半期純損益	1株当たり 四半期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	2,258	△64	△59	△84	△14.45
今 回 修 正 予 想 (B)	1,820	△93	△31	△22	△3.81
増 減 額 (B - A)	△438	△28	28	62	—
増 減 率 (%)	△19.4	—	—	—	—
(参考) 前期第2四半期実績 (平成28年12月期第2四半期)	2,359	△46	△9	△10	△1.88

4. 修正理由

第2四半期累計期間連結業績予想については、電子基板事業においてFPC試作の売上、並びに商社事業及び基板検査機事業において受注が計画どおり進捗しなかったことから、売上高は当初予想を下回る見込みであります。損益については、鏡面研磨機事業における売上高増加に伴う影響や、前記のとおり保険解約返戻金を営業外収益に計上したことによる利益増加要因はあったものの、主として売上高減少に伴う影響により、営業損益及び経常損益は当初予想より悪化、法人税等の影響により親会社株主に帰属する四半期純損益は損失が縮小する見込みであります。

第2四半期累計期間個別業績予想については、主として、連結子会社の株式会社ミラックにおける業績の影響を除いた第2四半期累計期間連結業績予想の修正理由により、売上高は当初予想を下回り、営業損益は悪化する見込みであります。また、株式会社ミラックの業績が堅調に推移したため、同社に対する貸倒引当金戻入額を営業外収益に計上したこと等により、当初予想と比較して経常損益及び四半期純損益は損失が縮小する見込みであります。

なお、通期業績予想については、第2四半期累計期間の業績の状況及び同期間末の受注残高を考慮した上で、電子基板事業における上期の原価低減による利益率向上の取り組みを更に推進することで当初予想は達成可能であると判断しており、現時点では据え置くことといたしました。今後、業績動向を踏まえ修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

5. 平成29年12月期配当予想

第2四半期末配当金及び期末配当金については、平成29年1月30日付当社「平成28年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」からの変更はありません。

※本業績予想等については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上